

KOREA Report

October 2015

CONTENTS

- * Project 1: HUMAX
- * Project 2: KWANPEN

1. HUMAX

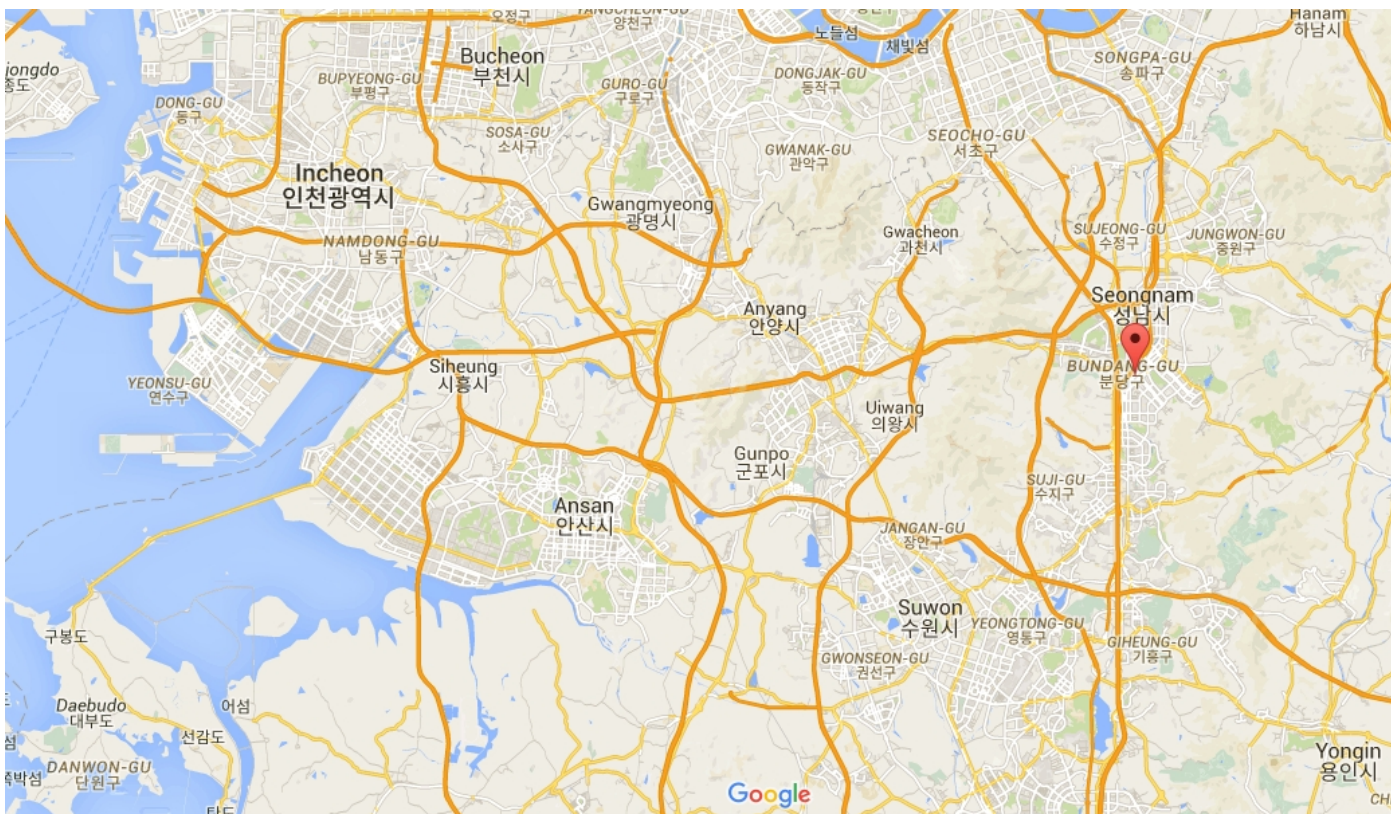
Project Overview

HUMAXは国内ベンチャー企業第1世代に属するDigital Set Top Boxの製造企業である。HUMAXの社屋は建築家ス・ヒョサンが設計したことでよく知られている。HUMAXの社屋は10年ぶりにリノベーションすることになり、デザイナーは既存の建築空間を損なわずに調和させながらも既存の建築の力に押されないように自分だけのスタイルでデザインを行ったという。建築の吹き抜け空間が多くて解釈することによって違ったからスペースをよく理解し、それと調和させることを重要と考えたという。あまりにも強くならないように、だからといって弱くもならないように、その間のデザインをとる過程が難しかったと思われる。自然素材である木やレンガを使ってトーンダウンされたグリーン、グレー、クリーム色で既存の空間とのバランスをとっているという。複数のフロアが一緒に見えるというところで、すべてのフロアが有機的によくつながっているながらカースキンも合わなければならぬとデザイナーは考えていた。このような考えから今の空間のようにナチュラルなスキンとカラーで統一されたデザインが出てくることができたと思う。

Project Details

1. Brand: HUMAX
2. Type of Business: Office
3. Open Date: 8/2015
4. Size: 2F-467 m², 5F-128 m², 6F-156 m², 7F-191 m², 8F-276 m², 9F-241 m², 10F-189 m², 11F-295 m², 12F-435 m², Penthouse-781 m²
5. Location: 216, Hwangsa-eul-ro, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, Korea

Location Map









2. KWANPEN

Project Overview

KWANPEN はハンドメイドワニ革のハンドバッグを販売するブランドでシンガポールの職人が前面と背部を同じワニ革を使用してミシン縫いの数まで精巧に合わせた手作業で作って繊細ながらも洗練された感覚を披露する。だから大衆的より少数のマニア層が形成されている。

KWANPEN の店舗デザインを進めてきたデザイナーは最初のソウル店のファサードにワニ革のパターンを形象化して陰刻でつくったユニットを使ってブランドアイデンティティを成功的に表現したことに続き、第二の店舗は顧客が売場を訪ねたときに集中力を高めるように空間を構成して商品を見せる方法について定義した。三番目に取り組んだ今回の店舗はブランドアイデンティティを強調する作業よりも既存、形成されているブランドを一層高級に精製する過程であったという。

ブランド力を持った商品を販売しているスペースだからこそブランドアイデンティティのために派手なパターンやデザインではなく、抑えた形と洗練された色でブランドの本当の価値を密かに吹き出す空間をつくりたかったという。

Project Details

1. Brand: KWANPEN
2. Type of Business: Retail Store
3. Open Date: 6/2015
4. Size: 63m²
5. Location: 772, Gaya-daero, Busanjin-gu, Busan, Korea

Location Map



